

# 新入生

昨年4月、元気に入學してきた  
しっかり勉強し、いろいろなこと  
大東東小学校の活動をもとに紹介



大きく口を開いて歌った音楽会



動物と触れ合った校外学習

## 1年間の主な行事

### 〈1学期〉

- ・入学式
- ・1年生を迎える会
- ・学校探検・学区探検
- ・全校遠足
- ・新体力テスト
- ・校内硬筆展
- ・交通安全教室
- ・プール開き

### 〈2学期〉

- ・虫捕り
- ・校内音楽会
- ・校外学習
- ・運動会
- ・サツマイモ集会
- ・歯科保健指導
- ・けやき祭り

### 〈3学期〉

- ・校内書き初め展
- ・持久走記録会
- ・幼稚園との交流会
- ・6年生を送る会
- ・修了式



運動会



芋掘り



秋の歯科指導



けやき祭り



隅々まできれいに

6月に植えた苗が、たくさんのお芋になりました。自分で掘ったお芋は宝物のようです。サツマイモ集会では恵みに感謝して、みんなでおいしくいただきました。

### 芋掘り、 サツマイモ集会 11月

赤、白、青に分かれて全力で競技や応援をしました。腰を振り振りのチェッコリ玉入れ、小旗を持つ「イッツア 大東東スモールワールド」はとてもかわいらしく、大きな拍手をもらいました。

### 運動会 10月

なかよしグループで計画し、遊びコーナーを作ります。上級生と協力して、自分の仕事もきちんと行うことができました。グループで他のコーナーも遊んでまわり、とても楽しいお祭りになりました。

### けやき祭り 11月

歯医者さんから、正しい歯の磨き方を教わりました。カラーテストで鏡を見ながら、磨き残しの点検です。ご家族の人と一緒に歯の大切さを学ぶことができました。

### 秋の歯科指導 11月

大東東小全体で取り組んでいる無言清掃。1年生も2学期から頑張っています。自分を成長させるための「がまん玉」「しんせつ玉」「みつげ玉」を磨きます。しっかりとできるようになりました。

### 無言清掃強化月間 12月



# 教育相談Q&A

## ◆うそをつく小学五年生

【Q】家庭での息子の言動が気になっています。先日、持久走大会に向けて練習している息子に試走の結果を聞いてみると、完走することができなかったにもかかわらず、十位になったと自慢そうに話していました。他にも、学校での出来事を話してくれるのですが、事実とは違ったことを言うことがあるようです。家では、「うそはついてはいけない」「本当のことを話してごらん」とよく言い聞かせています。うそをつかず、本当のことを話せる子になってほしいのですが、どのようにしたらよいのでしょうか。

【A】「うそをつく」というのは、一般的に自己防衛の表れの一つです。子どもの対人関係を築く経験の不足や、「うそ」をつかざるを得ない背景などを考えた時、ただ頭ごなしに「うそをついてはいけない」と教えるだけでは、問題が解決しません。また、「うそ」というのは、どこまでが事実なのか見えにくいところもあります。「うそ」をつく子は、自分の「うそ」がわかってしまうことを何よりも恐れるため、疑われていると感じると、極端に反抗したり、また「うその上塗り」をしたりする行動に出ることがあります。そうなることさらに状況を悪化させてしまいます。そこで、「うそをついた」と自分で問いただすのではなく、「なぜうそをついたのか」という本人の気持ちや状況把握

をすることが大切です。そのために、次のように、お子さんに接してみてください、いかがでしょうか。

### ①「うそをつく」という事実だけでなくその状況全体をとらえる

子どもがどのような時に、うそをつくのかを把握してみましょう。子どもへの対応の方向性があるにつれて、叱るだけでは本当の解決にはなりません。ごまかさず、自分の失敗や非を認め、素直に打ち明けてくれたら、大いに褒めましょう。そして、周りの大人は、その子らしさを褒め、本人が自分の良い所に気づき、自信が持てるように導いてあげましょう。

### ②ありのままの自分で過ごせる環境を

うそをつく理由が、親子関係、友達関係などの心理面によるものではないのかを振り返りながら、お子さんとゆっくりじっくりと向き合ってみましょう。親子で一緒に遊んだり、家事をしたりしながら、温かい会話で心を通わせ、何でも話せる雰囲気と関係を持つことが大切です。ありのままの自分を認めてもらえる安心感と他人に対して寛容な心が育まれれば、他人を傷つけたり、自分を大きくみせようとするための「うそ」など、なくなっていくでしょう。

◆教育センター分室(リベラ)では、教育に関する様々な相談をお受けしておりますので、ご利用ください。

### 教育センター分室(リベラ)

住所 川越市市場2649の1

面接相談(予約制) : TEL 234-8333

電話相談 : TEL 234-8335

## 給食で使用する自慢の川越産!!

～川越産野菜の紹介～



川越市マスコットキャラクター  
ときも

### みつば(糸みつば)

日本料理に欠かせないみつばは日本のハーブとも言われています。

川越市内ではスポンジの上に種をまき、水に浮かべて育てる「水耕栽培」という方法で1年を通して作られています。スーパーなどで根元にスポンジがついているものを見かけたら、それは水耕栽培されたものです。この時期は種まきから45日ほどで収穫できます。種は国内産のものを主に使用しているそうです。

学校給食で使用しているみつばは、ほぼ100%川越産です。小学校では3月の献立「すまし汁」に、中学校では2月の献立「沢煮椀」、3月の献立「白玉汁」に使用する予定です。

香り豊かなみつばを入れると、風味のよい料理になります。ご家庭でも汁物やサラダ、丼物等に取り入れてみてはいかがでしょうか。



▲沢煮椀

